

令和7年度2月号 [2月15日(発行)]



東風だより

川口市立東中学校
川口市東本郷2-20-47番地
TEL 048-281-4065
特別支援学級 285-2423
さわやか相談室 281-4627
<http://www.sch.kawaguchi.saitama.jp/higashi-j/>

先人の姿

校長 柳田 勇

寒暖差が大きく、体への負担が多い日々が続いております。生徒はもちろんのこと、保護者・地域の皆様も体調管理には十分お気を付けいただきたいと存じます。

今、東中学校も中学校卒業後の進路を決める最終段階に入っております。既に自分の進路が決まった生徒もおりますが、スタート位置が決まっただけであり、新たな道はまだ始まっておりません。今よい準備をすることが、よいスタートにつながります。また、1・2年生も職場体験や上級学校調べなどを行い、中学校卒業後の自分を何となく考え始めているのではないかでしょうか。今の時期は、生徒たちが大人への階段を上っていく時なのだと思います。

生徒たちは、自分の進路を決定していくにあたり、先輩の姿を参考の一つとしている部分があると思います。「あの先輩がこういう進路を選んだ」「進路先で活躍しているらしい」など、身近な先輩を自分自身と重ねる部分もあると思います。もちろん、保護者・地域の皆様の御指導の下、進路を決定するのは言うまでもありません。

では、私たち大人はどうでしょうか。やはり生徒と同じで、それぞれのケースで先輩の姿を見て、真似をし、仕事等を覚えていく経験をしていることと存じます。先輩の姿は、いろいろな意味で新しい生活をスタートさせる中では、大きな影響があると思います。年齢が若いほど、そのように感じことがあるのではないかでしょうか。そして、様々な感情を抱きながらも、自分なりのやり方を確立・更新していると思います。

しかし、年齢を重ねていくと、ある時から人から見られることが多くなることを感じると思います。当たり前のことがですが、見ている側から見られる側へ変わっていくのです。生徒たちもよく、進級すると「後輩の手本になるように」と様々な場面で口にします。そして、そのるべき姿を意識できると、新たな大人の階段を上ることにつながるのだと思います。

文化や伝統の継承は、師匠と弟子の関係があるように、人から人へ受け継がれていくものです。生活様式は様々に変化していきますが、人が持つ根幹の部分はあまり変わっていないように私自身は思っているところがあります。やり方や方法は違っても、物事に向き合う心構えの部分は、受け繋がれているものではないかと考えております。

東中学校という伝統で考えれば、来年度で80周年を迎えます。保護者・地域の皆様の中にも多くの卒業生がいらっしゃり、それぞれの想いがあるかと存じます。しかし、大人になると、母校には「よい学校であってもらいたい」と思うのではないかでしょうか。何を持ってよいかは人それぞれかと思いますが、自然とそのように感じるのではないかと思っております。生徒たちも先輩方の姿を引継ぎ、よりよい学校を目指している最中です。

生活をしていると、多くの『はじめて』に出会います。しかし、それを解決するために多くの知恵が残されています。先人たちの教えを大切に、よい姿を示したいものです。